

令和 6 年度

大阪府後期高齢者医療広域連合
一般会計・後期高齢者医療特別会計
決算審査意見書

大阪府後期高齢者医療広域連合監査委員

第1 審査の対象	1
第2 審査の期間	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
第5 審査の概要	2
第6 実質収支に関する調書	8
第7 財産に関する調書	8
第8 意見	10
一般・特別会計決算審査資料	11

(注) 各図表中に用いる金額は原則として表示単位未満を四捨五入している。
比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入している。
したがって、合計と内訳の計が一致しない場合等がある。

大広監第24号
令和7年10月2日

大阪府後期高齢者医療広域連合長
野田 義和 様

大阪府後期高齢者医療広域連合
監査委員 乘本 良一
監査委員 高島 賢

令和6年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・
後期高齢者医療特別会計決算審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定により審査に付された令和6年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計決算書及び証書類その他政令で定める書類を審査した結果について、次のとおり意見を提出する。

第1 審査の対象

令和6年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和7年8月1日から同年9月16日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、会計管理者から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等に基づき、決算計数の確認を行うとともに、予算が適正に執行されているかについて、例月現金出納検査の結果等を参考に、必要に応じて担当職員の説明を聴取するなどして審査を実施した。

第4 審査の結果

令和6年度一般会計・後期高齢者医療特別会計の決算について審査した結果、決算計数は、関係諸帳簿及び証書類と符合して正確であり、予算は適正に執行されていると認めた。

第5 審査の概要

1 決算の概要

(単位：百万円、%)

		令和6年度	令和5年度	増減	(比率)
歳 入		1,429,034	1,360,093	68,941	5.1
一般会計	290	230	60	26.1	
	特別会計	1,428,744	1,359,863	68,881	5.1
歳 出		1,402,124	1,332,400	69,724	5.2
一般会計	250	195	55	28.2	
	特別会計	1,401,874	1,332,205	69,669	5.2
形 式 収 支		26,910	27,693	△783	△2.8
翌年度繰越額		0	0	0	-
実 質 収 支		26,910	27,693	△783	△2.8

歳入決算額 1兆4,290億3,400万円

歳出決算額 1兆4,018億7,400万円

決算額は前年比で、歳入額689億4,100万円(5.1%)の増、歳出額697億2,400万円(5.2%)の増であった。

一般会計と後期高齢者医療特別会計を合わせた歳入歳出差引額(形式収支)及び実質収支は269億1,000万円の黒字となっている。

この中には前年度の繰越額276億9,300万円が含まれており、これを差し引いた単年度収支は7億8,300万円の赤字となっている。

2 一般会計

(単位：百万円、%)

	令和6年度	令和5年度	増減	(比率)
予算現額	293	223	70	31.4
歳入	290	230	60	26.1
収入率	99.0	103.1	△4.1 ポイント	—
歳出	250	195	55	28.2
支出率	85.3	87.4	△2.1 ポイント	—
形式収支	40	35	5	14.3
翌年度繰越額	0	0	0	—
実質収支	40	35	5	14.3

- 一般会計の令和6年度予算現額は、過大交付を受けた国庫補助金の国への償還金の増により、歳入歳出当初予算へ12万円を増額した合計2億9,300万円となっている。
- 一般会計の決算額は、歳入2億9,000万円、歳出2億5,000万円で、予算現額に対する比率は、歳入99.0%、歳出85.3%となっている。
- 前年度比で、歳入6,000万円(26.1%)の増、歳出5,500万円(28.2%)の増となっている。
- 形式収支及び実質収支は4,000万円の黒字、単年度収支は500万円の黒字となっている。

(1) 歳入

(単位：百万円、%)

	令和6年度	令和5年度	増減	(比率)
調定額	290	230	60	26.1
収入済額	290	230	60	26.1
収入率	100.0	100.0	0 ポイント	—
不納欠損額	0	0	0	—
収入未済額	0	0	0	—

- 収入済額は2億9,000万円で、収入率は100.0%となっている。
- 前年度比で、収入済額は6,000万円(26.1%)の増となっている。

○分担金及び負担金（市町村負担金）は2,500万円の増

○寄附金は500万円の減

○繰越金は 1,900 万円の増

- ・繰越金は、歳出（総務費）の財源に充て、歳入（市町村負担金）を減額している。

○諸収入は 2,100 万円の増

(2) 歳出

(単位：百万円、%)

	令和 6 年度	令和 5 年度	増減	(比率)
予 算 現 額	293	223	70	31.4
支 出 済 額	250	195	55	28.2
執 行 率	85.3	87.4	△2.1 ポイント	—
不 用 額	43	28	15	53.6

- ・支出済額は 2 億 5,000 万円で、執行率は 85.3% となっている。
- ・前年度比で、支出済額は 5,500 万円（28.2%）の増となっている。

○総務費は 5,500 万円の増

(予備費)

- ・予備費からの充用はなかった。

(不用額)

- ・不用額は 4,300 万円で、前年度比で 1,500 万円（53.6%）の増となっている。
- ・内訳は、総務費が 3,800 万円、予備費が 500 万円となっている。

3 後期高齢者医療特別会計

(単位：百万円、%)

	令和6年度	令和5年度	増減	(比率)
予算現額	1,411,487	1,356,723	54,764	4.0
歳入	1,428,744	1,359,863	68,881	5.1
収入率	101.2	100.2	1.0 ポイント	—
歳出	1,401,874	1,332,205	69,669	5.2
支出率	99.3	98.2	1.1 ポイント	—
形式収支	26,870	27,658	△788	△2.8
翌年度繰越額	0	0	0	—
実質収支	26,870	27,658	△788	△2.8

- ・後期高齢者医療特別会計の令和6年度予算現額は、過大交付を受けた国庫負担金等の国等への償還金や保険給付費の増等により、歳入歳出当初予算へ293億5,900万円を増額した合計1兆4,114億8,700万円となっている。
- ・後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入1兆4,287億4,400万円、歳出1兆4,018億7,400万円で、予算現額に対する比率は、歳入101.2%、歳出99.3%となっている。
- ・前年度比で、歳入688億8,100万円(5.1%)の増、歳出696億6,900万円(5.2%)の増となっている。
- ・形式収支及び実質収支は268億7,000万円の黒字、単年度収支は7億8,800万円の赤字となっている。

(1) 歳入

(単位：百万円、%)

	令和6年度	令和5年度	増減	(比率)
調定額	1,429,156	1,360,329	68,827	5.1
収入済額	1,428,744	1,359,863	68,881	5.1
収入率	99.9	99.9	0.0 ポイント	—
不納欠損額	11	40	△29	△72.5
収入未済額	400	426	△26	△6.1

- ・調定額は1兆4,291億5,600万円、収入済額は1兆4,287億4,400万円で、収入率は99.9%となっている。
- ・前年度比で、調定額は688億2,700万円(5.1%)の増、収入済額は688億8,100万円(5.1%)の増となっている。

○市町村支出金は 201 億 4,700 万円の増

- ・事務費負担金が 4,600 万円の減、保険料等負担金が 162 億 5,500 万円の増、療養給付費負担金が 39 億 3,800 万円の増となっている。

○国庫支出金は 191 億 900 万円の増

- ・療養給付費負担金が 139 億 4,800 万円の増、高額医療費負担金が 4 億 7,500 万円の増、調整交付金が 47 億 9,200 万円の増、その他補助金が 1 億 600 万円の減となっている。

○府支出金は 18 億 9,300 万円の増

- ・療養給付費負担金が 14 億 1,800 万円の増、高額医療費負担金が 4 億 7,500 万円の増となっている。

○支払基金交付金は 110 億 5,000 万円の増

○特別高額医療費共同事業交付金は 1 億 3,800 万円の増

○繰越金は 133 億 2,500 万円の増

- ・繰越金は、過大に交付された負担金等の償還に充てた後、残額は医療給付費準備基金に積み立てを行い、保険給付費の財源としている。

○諸収入は 9,900 万円の増

- ・預金利子が 6,300 万円の増、第三者納付金が 5,600 万円の増、返納金が 100 万円の増、雑入が 2,100 万円の減となっている。

(不納欠損)

- ・不当利得のうち、資格喪失後受診、負担割合差額にかかる返還金について、時効を迎えた債権の不納欠損処理を行っている。
- ・また、医療機関等への診療報酬にかかる返還金についても、破産手続が終了した債権の不納欠損処理を行っている。
- ・不納欠損額は 1,100 万円で、内訳は概ね返納金となっている。

(収入未済額)

- ・収入未済額は 4 億円で、前年度比で 2,600 万円 (6.1%) の減となっている。
- ・内訳は、返納金が 4 億円となっている。

(2) 歳出

(単位：百万円、%)

	令和6年度	令和5年度	増減	(比率)
予算現額	1,411,487	1,356,723	54,764	4.0
支出済額	1,401,874	1,332,205	69,669	5.2
執行率	99.3	98.2	1.1 ポイント	—
不 用 額	9,613	24,518	△14,905	△60.8

- ・支出済額は1兆4,018億7,400万円で、執行率は99.3%となっている。
- ・前年度比で、支出済額は696億6,900万円(5.2%)の増となっている。

○総務費は7億7,400万円の増

- ・一般管理費が8,900万円の増、電子計算費6億8,500万円の増となっている。

○保険給付費は546億6,600万円の増

- ・療養給付費等が486億8,200万円の増、高額療養費等が57億8,700万円の増、葬祭費等が1億9,700万円の増となっている。

○特別高額医療費共同事業拠出金は2億5,700万円の増

○支払基金拠出金は、8億6,300万円の増

○保健事業費は3億6,900万円の増

- ・健康診査費等が2億5,700万円の増、保健・介護予防の一体的実施事業費が7,400万円の増、その他健康保持増進費が3,900万円の増。

○基金積立金は37億7,800万円の増

○諸支出金は89億6,200万円の増

(不用額)

- ・不用額は96億1,300万円で、前年度比で149億5000万円(60.8%)の減となっている。
- ・内訳は、総務費が8億5,700万円、保険給付費が77億2,000万円、特別高額医療費共同事業拠出金が1億4,300万円、支払基金拠出金が100万円、保健事業費が8億7,600万円、諸支出金が100万円、予備費が1,500万円となっている。

第6 実質収支に関する調書

決算書及び関係帳簿と照合したところ、計数は正確であると認められた。

第7 財産に関する調書

① 物 品

備品台帳等と照合したところ、計数が正確であることが認められた。

区分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高		決算年度末 現在高
		(増) 台	(減) 台	
液晶テレビ	1	0	0	1
パソコン用コンピュータ	13	0	12	1
電話交換機	1	0	1	0
金庫	1	0	0	1
財務・給与システムソフトウェア	5	0	0	5
財務・給与システムサーバー式	1	0	0	1
電算処理システム用A Pサーバー式	1	0	0	1
サーバラック	34	0	6	28
ビデオカメラ	2	0	0	2
プロジェクター	1	0	0	1
インテリジェントスイッチ	1	0	0	1
サーバ室エアコン	4	0	0	4
スライド収納式書庫	1	0	0	1

(取得価格1品10万円以上)

②基 金

医療給付費準備基金については、財政の健全な運営を図り、医療給付等に要する費用の財源に充てることを目的に設置している。

決算年度中の増減は 22 億 9,750 万 3 千円の減で、これは保険給付費に係る基金への積み立てと、高額療養費の財源及び、令和 6・7 年度保険料激変緩和のための基金の取り崩しによるものである。

(後期高齢者医療給付費準備基金)

(単位：千円)

区 分	前 年 度 末 現 在 高	決 算 年 度 中 増 減 高	決 算 年 度 末 現 在 高
現 金	19,304,469	△2,297,503	17,006,966

第8 意見

（1）確認した事実等

- ・大阪府内の後期高齢者医療制度の被保険者数は、令和7年4月現在、約134万人で、平成20年の制度施行時と比較して約62万人増加し、約1.9倍の伸びとなっている。
- ・保険料収納率は、収納対策の取組みの強化等を行ったものの、令和6年度は99.41%となり、前年度比で0.03ポイント減少している。
- ・医療給付の返還金等について、約4億円の収入未済額が生じている。
- ・被保険者の健康を保持増進し医療費適正化を図るため、市町村と連携した高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施、健康診査、ジェネリック医薬品利用促進等の事業を実施している。
- ・健康診査の令和6年度受診率は24.58%で、前年度比で0.71ポイント上昇している。一方、歯科健康診査の令和6年度受診率は13.39%で、前年度比で0.31ポイント減少している。

（2）意見

- ・今後も高齢化の進展に伴い被保険者数は増加すると見込まれることから、事務処理の効率的な執行に努めるとともに、国、府及び市町村と連携し、制度の安定した運営に取り組まれたい。
- ・保険料の収入確保について、被保険者間の公平性の観点から、広域連合として市町村の徴収対策を支援する取組みを強化されたい。また、令和6年度から実施している市町村への保険料収納対策の支援事業について効果検証を行い、より実行性のある手法での事業実施となるよう検討されたい。加えて、保険料納付に係る被保険者の負担軽減と利便性向上を目的とした、特別徴収制度の見直しや改善を国に対して求められたい。
- ・未収金については、公平性の確保を図るため、関係市町村と連携し、債権管理条例に基づいた適切な債権管理に努められたい。
- ・給付費の適正化に向け、医療機関からの請求に対する厳正な審査点検に努めるとともに、不正受給を行う医療機関への監査権限を有する大阪府及び近畿厚生局に対して、一層の監査体制の強化に努めるよう求められたい。
- ・健康診査及び歯科健康診査について、受診率が向上するよう引き続き取り組まれたい。また、受診率向上に資する事業の費用対効果の検証を行い、より効果的な事業となるよう検討されたい。

一般・後期高齢者医療特別会計決算審査資料

別表第1 一般会計款別歳入歳出決算状況 1 2

別表第2 後期高齢者医療特別会計款別歳入歳出決算状況 1 4

【歳入（一般会計）】

	予算現額 (A)	調定額 (B)		調定率 (B/A)	収入済額 (C)	構成比
		構成比	構成比			
分担金及び負担金	230,511	78.6	230,511	79.4	100.0	230,511
国庫支出金	6,179	2.1	3,445	1.2	55.8	3,445
寄付金	1	0.0	0	0.0	0.0	0
繰越金	34,824	11.9	34,824	12.0	100.0	34,824
諸収入	21,634	7.4	21,385	7.4	98.8	21,385
	293,149	100.0	290,165	100.0	99.0	290,165
						100.0

【歳出（一般会計）】

	予算現額 (A)	支出済額 (B)		予算執行率 (B/A)
		構成比	構成比	
議会費	1,808	0.6	1,415	0.6
総務費	286,219	97.7	248,572	99.4
予備費	5,000	1.7	0	—
諸支出金	122	0.0	122	0.0
	293,149	100.0	250,109	100.0
				85.3

入 売 出 決 算 状 況

(単位：千円、%)

予算執行率 (C/A)	収入率 (C/B)	不納欠損額 (D)	収入未済額 (E)	構成比		未収率 (E/B)	前年度 収入済額 (F)	増減 (C-F)
				構成比	構成比			
100.0	100.0	0	0	—	—	—	205,658	24,853
55.8	100.0	0	0	—	—	—	3,107	338
0.0	0.0	0	0	—	—	—	5,000	△ 5,000
100.0	100.0	0	0	—	—	—	15,843	18,981
98.8	100.0	0	0	—	—	—	37	21,348
99.0	100.0	0	0	—	—	—	229,645	60,520

不用額 (C)	構成比	不用額比率 (C/A)	前年度 支出済額 (D)		増減 (B-D)
			構成比	前年度 支出済額 (D)	
393	0.9	21.7		1,428	△ 13
37,647	87.5	13.2		193,353	55,219
5,000	11.6	100.0		0	0
0	0.0	0.0		40	82
43,040	100.0	14.7		194,821	55,288

別表第2

後 期 高 齡 者 医 療 特 別 会 計

【歳入（後期高齢者医療特別会計）】

	予算現額 (A)	構成比	調定額 (B)	構成比	調定率 (B/A)	収入済額 (C)	構成比
市町村支出金	267,363,861	18.9	270,679,001	18.9	101.2	270,679,001	18.9
国庫支出金	436,326,900	30.9	450,115,287	31.5	103.2	450,115,287	31.5
府支出金	117,364,649	8.3	117,592,463	8.2	100.2	117,592,463	8.2
支払基金交付金	547,419,179	38.8	547,600,042	38.3	100.0	547,600,042	38.3
特別高額医療費 共同事業交付金	1,425,176	0.1	1,173,171	0.1	82.3	1,173,171	0.1
財産収入	47,400	0.0	47,306	0.0	99.8	47,306	0.0
寄附金	1	0.0	0	—	—	0	—
繰入金	12,578,207	0.9	12,578,207	0.9	100.0	12,578,207	0.9
繰越金	27,658,745	2.0	27,658,745	1.9	100.0	27,658,745	1.9
諸収入	1,302,440	0.1	1,711,594	0.1	131.4	1,300,042	0.1
	1,411,486,558	100.0	1,429,155,816	100.0	101.3	1,428,744,264	100.0

【歳出（後期高齢者医療特別会計）】

	予算現額 (A)	構成比	支出済額 (B)	構成比	予算執行率 (B/A)	
総務費	5,240,771	0.4	4,383,963	0.3		83.7
保険給付費	1,371,606,005	97.2	1,363,886,586	97.3		99.4
特別高額医療費 共同事業拠出金	1,425,771	0.1	1,283,173	0.1		90.0
支払基金拠出金	863,970	0.1	862,969	0.1		99.9
保健事業費	5,825,341	0.4	4,948,360	0.4		84.9
基金積立金	10,280,794	0.7	10,280,703	0.7		100.0
諸支出金	16,228,906	1.1	16,227,848	1.2		100.0
予備費	15,000	0.0	0	—		—
	1,411,486,558	100.0	1,401,873,602	100.0		99.3

款 別 歳 入 歳 出 決 算 状 況

(単位：千円、%)

予算執行率 (C/A)	収入率 (C/B)	不納欠損額 (D)	収入未済額 (E)	構成比		未収率 (E/B)	前年度 収入済額 (F)	増減 (C-F)
101.2	100.0	0	0	—	—	—	250,531,682	20,147,319
103.2	100.0	0	0	—	—	—	431,006,527	19,108,760
100.2	100.0	0	0	—	—	—	115,699,917	1,892,546
100.0	100.0	0	0	—	—	—	536,549,883	11,050,159
82.3	100.0	0	0	—	—	—	1,034,870	138,301
99.8	100.0	0	0	—	—	—	4,560	42,746
—	—	0	0	—	—	—	0	0
100.0	100.0	0	0	—	—	—	9,500,000	3,078,207
100.0	100.0	0	0	—	—	—	14,334,034	13,324,711
99.8	76.0	11,327	400,225	100.0	23.4	—	1,201,995	98,047
101.2	100.0	11,327	400,225	100.0	0.0	—	1,359,863,468	68,880,796

不用額 (C)	構成比		不用額比率 (C/A)	前年度 支出済額 (D)	増減 (B-D)
856,808	8.9	—	16.3	3,609,634	774,329
7,719,419	80.3	—	0.6	1,309,220,126	54,666,460
142,598	1.5	—	10.0	1,026,130	257,043
1,001	0.0	—	0.1	0	862,969
876,981	9.1	—	15.1	4,580,406	367,954
91	—	—	—	6,502,967	3,777,736
1,058	0.0	—	0.0	7,265,460	8,962,388
15,000	0.2	—	100.0	0	0
9,612,956	100.0	—	0.7	1,332,204,723	69,668,879